

村林総領事のAnime Matsuri 2023開会式への出席

8月10～13日、ジョージ・R・ブラウン・コンベンションセンターで「Anime Matsuri 2023」が開催され、村林総領事が開会式に招待を受け参加しました。

Anime Matsuriは、2007年に初めて開催されて以来、当地の日本ポップカルチャー・ファンの支持を受けて年々拡張され、現在では全米でも有数の規模を誇る

アニメ関連イベントとなっています。会場では、様々なショップ、イベント、コンサート等が展開され、日本のアニメ、マンガ、ゲーム、コスプレ、ファッション等のブースが所狭しと並びました。また、和太鼓、三味線、歌舞伎のパフォーマンスや相撲大会等も行われ、日本の伝統文化に触れる機会も提供されました。会場はコスプレ衣装姿の参加者で連日大盛況となりました。

開会式では、村林総領事が仮面ライダーのグッズを身につけて参加し、



イベントを通じて更に日本に親しみを持ってもらえたらありがたいと語りかけ、挨拶を締めくりました。

ターナー・ヒューストン市長は「ONE PIECE」のコスプレ姿で登場し、本イベントの開催と年々の成長に祝意を述べつつ、コスプレしたアニメの内容を引用しながらこれまでのヒューストン市長としての活動を振り返るとともに、こうしたイベントはヒューストン市の多様性を表しているものであると歓迎しました。

当館も、ブースを出展するとともに、館内3階のボールルームにて2回のプレゼンテーションを実施し、来場者に日本文化を紹介・発信する活動を実施しました。日本のホラーを紹介した回には約300人が訪れました。

(在ヒューストン日本国総領事館)



今こそおさらい Halloween

ハロウィンを楽しむための基礎知識とマナー

未だ厳しい暑さが続くヒューストンですが、季節は少しずつ本格的な秋へ移り変わろうとしています。アメリカの秋と言えば、毎年10月31日に行われるハロウィンを連想される方も多いのではないでしょうか。今回はハロウィンをより楽しんでいただけるよう、基礎知識とマナーをご紹介します。

そもそもハロウィンとは？

元々ハロウィンは、古代アイルランドに住んでいたケルト人が起源と考えられているお祭りの一種です。ケルト人にとって一年の終わりである10月31日に、先祖の霊が現世の家族に会うため「あの世」から戻ってくるとされ、現世の家族は盛大に先祖を迎え供養します。この時、同時に来ってしまう悪霊から身を守るために、恐ろしい仮装とお菓子で身を守る慣わしがあったそうです。現代では祝祭本来の意味合いが薄れ、仮装やトリックオアトリートを楽しむ民間行事として定着しました。

どんな楽しみ方があるの？

かぼちゃを用いた自宅や庭などの飾り付け



この時期スーパーの店頭でも装飾用のかぼちゃは入手できますが、農家での収穫やイベントを行楽として楽しみながら好みのかぼちゃを購入できる「パンプキンパッチ」は、アメリカならではの楽しみ方のひとつです。もちろんかぼちゃ以外での飾り付けや、装飾が施された家々を鑑賞することもお勧めです。

ジャック・オー・ランタン作り

入手したかぼちゃはそのまま飾るのも良いですが、カービングを施した「ジャック・オー・ランタン」を作ってみるのも一興です。かぼちゃのヘタと種を取り除き、目、鼻、口の形をくり抜いて中にキャンドルを灯せば出来上がり

り。ハロウィンの気分を一層盛り上げてくれます。ただし、早く作りすぎてしまつとかぼちゃが腐敗してしまうのでご注意ください。

仮装

職場や近所のコミュニティーはもちろん、お子さんがいらっしゃる方は、スクールでも仮装イベントが予定されていることが多いと思われます。例年ハロウィン間近になると、気に入った衣装の在庫がない！という事態が起こるそうです。早めに用意されることを強くお勧めします。

いよいよハロウィン当日！

安全に楽しむために、押さえておくべきマナーは？

子どもたちの楽しみは、何と言っても家々を回りお菓子を入手できるトリックオアトリートではないでしょうか。ただし、安全のために、是非心に留めていただきたいマナーがいくつかあります。

訪ねて良い家

家の前にハロウィンの飾り付けがあるか、玄関の明かりが灯されていればOKです。玄関口の明かりを消しているのは不参加表明の印ですので、立ち寄りてはなりません。



必ず大人も付き添う

たとえ近隣の住宅であっても、子どもだけで行くのは避けるべきです。必ず大人が付き添い見守るようにしてください。

カゴや袋を持参

いただいたお菓子を入れるためのカゴや袋もお忘れなく。ジャック・オー・ランタン型のバケツなどもお勧めです。

お菓子を口にする前に確認

持ち帰ったお菓子は、お子さんが口にする前に、異臭や開封された形跡などが無いのか、必ず確認するようにしてください。一昔前に、毒入りのお菓子が配られるといった事件があったそうで、この時期メディアも注意喚起を行っています。



安全にご留意のうえ、皆さんが2023年のハロウィンを楽しめるよう願っております！

(編集委員 井上 彩乃)